

投資家・FPの北野琴奈さんが 太陽光発電投資を始める理由



対談

北野琴奈さん × エコスタイル木下社長

4月に電力自由化を迎え新たな分野の参入により活発化が予想される。またマイナス金利導入で経済回復が期待されている。今回は不動産投資家でありファイナンシャルプランナーの北野琴奈さんを迎えて太陽光発電投資について語ってもらった。

司会 本日は国内外に物件を所有し、ファイナンシャルプランナーとしても活躍される北野琴奈さんに来ていただきました。太陽光発電投資を開始されるとお聞きしましたが、なぜこのタイミングでしようと思ったのか。そもそも琴奈さんにとって投資とは何か。お聞かせ願います。

北野 2000年から投資信託などの金融投資を始めました。その後、不動産投資に乗り出して紆余曲折しながらも6棟104戸まで所有しました。

10数年投資をやってきた中で、築年数が古くなった物件を持ち続けるのかといった問題や、安倍政権および日銀、黒田総裁の任期も控え、経済はどうなっていくのかを考慮して現在、売却や新規購入を含め資産の入れ替えをしています。加

貯蓄でもなくリスク感じずできる投資に魅力

えて、今回新たに取り組みものが、太陽光発電投資です。

司会 なぜ資産の入れ替えの一つが太陽光発電投資なのでしょう。

北野 太陽光発電投資には固定価格買取制度がありま。また不動産投資と異なり、空室リスクをあまり感じず投資でき、かつ貯蓄でもなく手残りがある程度あるものだと感じています。サッカーで例えると不動産投資はアグレッシブで、太陽光投資は対極のディフェンシブと言えるでしょう。

木下 太陽光発電投資は、不動産投資と異なって空室

エネルギーミックスで再生可能エネルギーの比率が22～24%に

や家賃滞納リスクがなく、経年劣化に伴う修繕費用もありません。発電した電気を、電力会社が20年間一定価格で買い取ることを国が約束する「固定価格買取制度」があるため、太陽がある限り、収入が守られています。これらのリスクがない上に、表面利回りにおいても不動産投資を上回っています。

司会 買取価格が高かった時代、太陽光発電投資はさかれていなかったのでしょうか。

北野 当時から興味はありましたが、海外不動産に注力していたので手が回りませんでした。他の不動産投資家の方々は、固定価格買取

ファイナンシャル・プランナー
(日本FP協会認定 CFP® 認定者)

北野 琴奈

制度と減価償却をうまく組み合わせる太陽光発電投資をガンガンやってきたように感じていました。

司会 今、太陽光発電は買取価格が24円に下がり、もう終わったという声も耳にしますが。

北野 たしかに減価償却のメリットがなくなってしまう、利益が薄くなったという人もいます。ですが価格は下がっているとは言えども、固定価格買取制度は続いています。初期投資のコストが下がっているのだから利回りは悪くはないと言えるでしょう。

木下 おっしゃるように、メガソーラーは厳しい状態にあると言えます。というのは、設置する場所がもはや山林を造成するしかありません。1MWのメガソーラーを作るためには1万5000㎡必要です。ただ、2030年の電源構成、いわゆるエネルギーミックスで、温室効果ガス排出量の削減という課題を達成するために、再生可能エ

木下 公貴

ネルギーの比率が全体の22～24%と昨夏定められ、うち太陽光発電は7%と定められました。

司会 7%というのと、どれくらいの容量でしょうか。また現在日本において、太陽光発電の容量はどれくら

いでしょうか。

木下 64GWに相当します。現在、経済産業省に80GWの設備認定が行われ、うち25GWのみ稼働しています。

北野 目標より大幅に認定されているということですね。

木下 認定はされています。ただ、これは高い売電単価のうちに設備の申請をして売電権利があるというだけで、実際はまだ半分は40GWしか電力接続申請されていない状況です。今回、再エネ特措法が改正され今年度末までに電力接続契約が締結されない場合は設備認定が失効することになりました。よって、2030年までに太陽光発電の設備認定が15GW以上は新たに必要と考えています。

※1GWは1MW(メガ)ソーラーを1000件

司会 なるほど。政府も整理しているところなのですね。さて、地熱や水力発電はうまく活用できませんか。

木下 河川は利害関係者が多く、水利権の調整が難しいので水力発電は普及していません。地下の熱エネルギーを利用して発電する地熱発電においては、1千メートルの掘削で100度以上の温水または蒸気が出るところは、日本でも限られています。そのように、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの

普及が進まないのは、費用や設置場所など参入障壁の高さに原因があります。

今後、蓄電技術のイノベーションにより太陽光発電は24時間供給可能な安定電源に進化します。また、原子力発電所が稼働できない、または廃炉になっていくと、温室効果ガス削減のために、参入障壁が低い太陽光発電がさらに求められるでしょう。

北野 原発と切り離せない問題ですね。2011年に起きた東日本大震災から、再生可能エネルギーの重要性が増し、今まで以上に未来への意識が向くようになりました。子どもたちの未来のためにも太陽光発電投資という形でかわってきたいです。

司会 政府、電力会社、そして世界の動向を鑑みて我々一人ひとりがもっと関心を持つて考える必要がありますね。本日はどうもありがとうございました。

あんしん太陽光発電 エコの輪

<http://www.taiyo-co.jp/> エコの輪

検索

株式会社エコスタイル

【東京本社】〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 丸の内永楽ビルディング20階
【大阪本社】〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町1丁目4番6号 ミフネ道修町ビル3階

0120-633-715

フリーダイヤル